

J R北海道グループ 2024年度決算

2025年5月9日

北海道旅客鉄道株式会社

目次

1. グループ連結決算のポイント

2. JR北海道単体決算のポイント

1

1. グループ連結決算のポイント

(1) '24年度の概要

- ・2024年度の連結営業収益は、インバウンド需要の好調が続く中、快速エアポートの輸送力増強や各種プロモーションの効果により千歳線や新幹線を中心に鉄道運輸収入が増加したこと、また、ホテル業や物販・飲食業なども好調に推移したことから、前年度を上回る1,560億円となりました。
- ・物価高の影響による費用増加や収入に連動した仕入原価の増加もありましたが、グループを挙げてコスト削減に取り組みました。この結果、連結営業利益は前年度と比較して17億円改善した482億円の赤字となりました。
- ・経営安定基金運用益や国からの支援等を加えた最終利益は46億円となり、前年度に続き黒字を確保しました。
- ・単体決算についても営業収益は前年度を上回り、最終利益は17億円の黒字を確保しました。

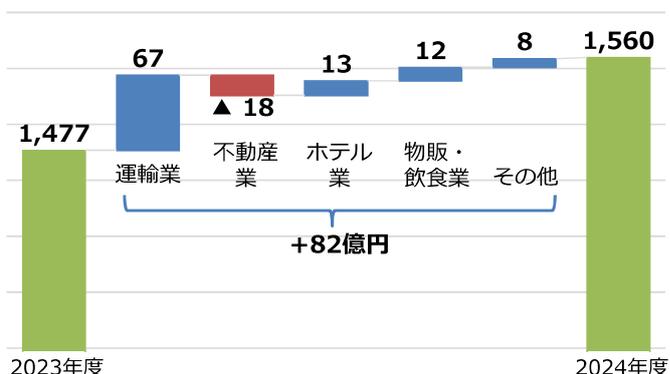
■ JR北海道グループ（連結）

（単位：億円、億円未満切捨）

第4四半期累計	'23年度 実績	'24年度 実績	増減	比率 (%)
営業収益	1,477	1,560	82	105.6
営業利益	▲ 499	▲ 482	17	-
経常利益	▲ 111	▲ 125	▲ 14	-
親会社株主純利益	33	46	12	137.8

■ セグメント別営業収益の増減額

（単位：億円、億円未満切捨）



2

1. グループ連結決算のポイント

(2) '24年度 連結損益計算書 (対前年比較)

(単位：億円、億円未満切捨)

第4四半期 累計	'23年度 実績	'24年度 実績	増減	比率 (%)
営業収益	1,477	1,560	82	105.6
鉄道運輸収入	698	766	67	109.6
営業費用	1,977	2,042	65	103.3
営業利益	▲499	▲482	17	-
営業外損益	388	357	▲31	91.9
一般営業外損益	18	13	▲5	72.5
基金運用益	315	290	▲25	92.1
特別債券利息	55	53	▲1	97.6
経常利益	▲111	▲125	▲14	-
特別利益	249	240	▲8	96.5
特別損失	83	48	▲35	57.8
親会社株主純利益	33	46	12	137.8

- ・営業収益は、鉄道運輸収入の増加に加えホテル業や物販・飲食業なども好調に推移したことから、前年度に比べ82億円増加した1,560億円となりました。
- ・営業費用は、物価高による影響や収入に連動した仕入原価の増加もあり、65億円増加した2,042億円となりました。
この結果、営業利益は17億円改善した482億円の赤字となりました。
- ・経営安定基金運用益が有価証券売却益の減少により25億円減少したことなどから、経常利益は14億円減少した125億円の赤字となりました。
- ・特別利益に国からの支援（217億円）などを計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は、12億円増加した46億円となりました。

3

1. グループ連結決算のポイント

(3) '24年度 事業セグメント別の状況 (対前年比較)

(単位：億円、億円未満切捨)

第4四半期 累計	'23年度		'24年度		増減	
	外部売上	営業利益	外部売上	営業利益	外部売上	営業利益
① 運輸業	895	▲563	963	▲549	67	14
② 不動産業	192	43	173	37	▲18	▲6
③ ホテル業	100	15	113	20	13	5
④ 物販・飲食業	238	8	250	8	12	0
⑤ その他	50	13	58	13	8	0
合計	1,477	▲499	1,560	▲482	82	17

「JR北海道グループ中期経営計画2026」のスタートに合わせ、当年度からセグメントの名称を変更しております。
(②不動産賃貸業→不動産業、④小売業→物販・飲食業に変更)

- ① 運輸業：千歳線や新幹線を中心に、鉄道運輸収入が増加したことにより増収増益
- ② 不動産業：既存施設は堅調も、エスタの営業終了（'23年8月末）や、前年度に土地売却益（極楽湯さっぽろ弥生跡地）の計上があったことなどにより減収減益
- ③ ホテル業：運営するホテル全館で売り上げが過去最高となり増収増益
- ④ 物販・飲食業：土産物店でインバウンドを中心とする観光客の需要を取り込んだことに加え、スーパーマーケットが堅調に推移し増収増益
- ⑤ その他：グループ外への事業展開が拡大し、全体として増収増益

【参考】グループ会社からJR北海道への収益還元等

- ・地代、家賃等の受取 51億円
 - ・配当金の受取 22億円
 - ・グループ通算制度 9億円
- 計 84億円 (JR北海道の成績に寄与)
(対2023年度 ▲10億円)

4

2. JR北海道単体決算のポイント

(1) '24年度 単体損益計算書 (対前年比較)

(単位：億円、億円未満切捨)

第4四半期 累計	'23年度 実績	'24年度 実績	増減	比率 (%)	
営業収益	849	908	58	106.9	・ 鉄道運輸収入は、千歳線(快速エアポート)のご利用が好調に推移したことや、新幹線のご利用も伸びたことから、67億円増加した766億円となりました。
鉄道運輸収入	698	766	67	109.6	
(うち新幹線)	(77)	(87)	(10)	(113.6)	
開発事業収入	63	53	▲ 9	84.4	
その他の収入	87	88	0	101.0	
営業費用	1,424	1,475	50	103.6	・ 営業費用は、人件費の増加や修繕工事の進捗により、50億円増加した1,475億円となりました。この結果、営業利益は7億円改善した567億円の赤字となりました。
人件費	425	435	10	102.4	
動力費	82	79	▲ 2	97.0	
修繕費	399	423	24	106.0	
その他の費用	518	536	18	103.6	・ 経営安定基金運用益が有価証券売却益の減少により25億円減少したことなどから、経常利益は29億円減少した192億円の赤字となりました。
営業利益	▲ 574	▲ 567	7	-	
営業外損益	412	375	▲ 37	91.0	・ 特別利益に国からの支援(217億円)などを計上した結果、当期純利益は前年度並みの17億円の黒字を確保することができました。
一般営業外損益	42	31	▲ 10	74.2	
基金運用益	315	290	▲ 25	92.1	
(運用利回り%)	(4.61)	(4.25)	(▲0.36)		
特別債券利息	55	53	▲ 1	97.6	
経常利益	▲ 162	▲ 192	▲ 29	-	
特別利益	193	233	40	120.9	
特別損失	21	34	13	163.3	
当期純利益	18	17	▲ 1	91.6	

5

2. JR北海道単体決算のポイント

【参考】JR北海道の冬期経費について

・ 札幌圏の降雪量は前年度に比べ減少しましたが、空知・十勝地方では増加しました。労務単価上昇による外注費用の増加もあり、冬期経費全体としては前年度に比べ2億円増加しました。

(単位：億円)

		'23年度	'24年度	増減	内容
営業費用	人件費	14	14	0	駅構内のポイントや、ホームの除雪を行う冬期パートナー社員に係る費用
	修繕費	27	29	2	線路の機械除雪、踏切の除雪に係る外注費など
	その他	13	14	1	ポイント部の雪を融かすための電気代など
	計	55	58	3	
設備投資		12	11	▲ 1	'23年度・排雪モーターロータリーの導入(7台)など '24年度・排雪モーターロータリーの導入(5台)など
合計		67	69	2	



駅構内の除雪作業



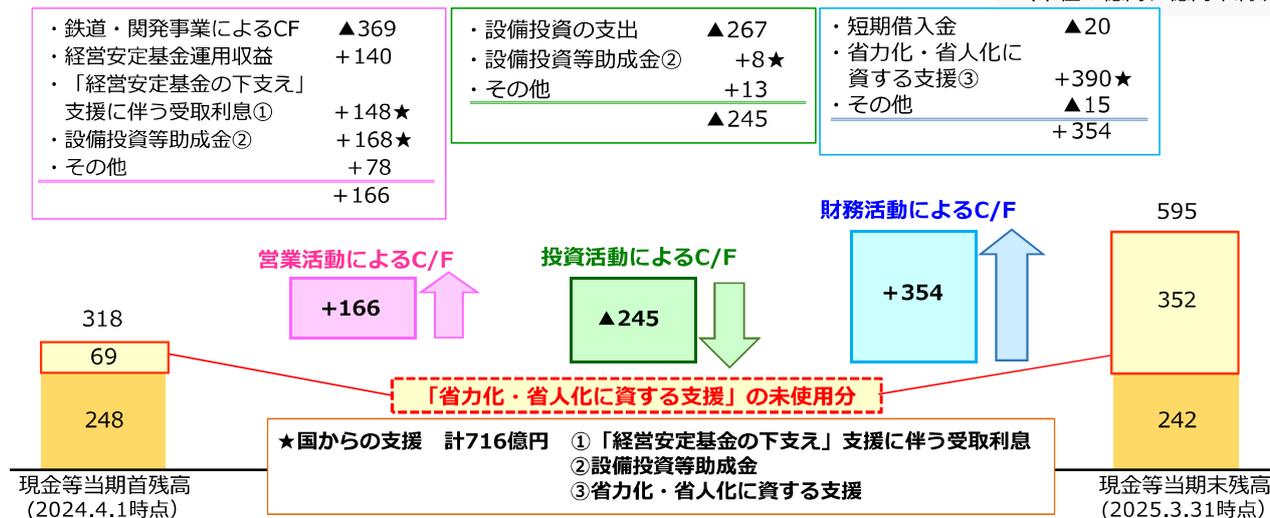
排雪モーターロータリー (ENR-1000)

6

2. JR北海道単体決算のポイント

(2) '24年度 単体キャッシュ・フロー

(単位：億円、億円未満切捨)



営業活動によるC/F 営業赤字に伴い資金が減少する一方、国からの支援や経営安定基金の運用収益により、合計で166億円の現金収入となりました。

投資活動によるC/F 「省力化・省人化に資する支援」を活用した設備投資を行ったことなどから、合計で245億円の現金支出となりました。

財務活動によるC/F 「省力化・省人化に資する支援」の追加出資390億円を受け入れた一方、借入金を返済したことから、合計で354億円の現金収入となりました。

この結果、現金等当期末残高は、期首から276億円増加した595億円となりました。「省力化・省人化に資する支援」の未使用分352億円を差し引いた実質的な現金等当期末残高は242億円となっており、期首並みの資金残高を維持しております。

※設備投資等助成金については「損益計算書」と「キャッシュ・フロー」で金額が一致しません。
 (「キャッシュ・フロー」は決算期中の入出金実績に基づき記載しております。)

7

【参考】国からの支援の決算への反映状況

国から発表された当社に対する支援は、'24年度決算に以下のとおり反映されています。

	進捗状況 (2025年3月31日現在)
①経営安定基金の下支え (運用益の安定的な確保)	○基金運用益に受取利息148億円 計上 ・'21年7月から順次、鉄道・運輸機構へ2,970億円を利率5%で貸付
②助成金の交付 (継続)	○特別利益に217億円 計上 ・貨物走行線区における貨物列車の運行に必要な設備投資等の支援 ・青函トンネルに係る修繕等の支援 ・黄線区に係る支援
③省力化・省人化に資する支援	○出資金の活用実績107億円 (累計活用実績431億円) 【出資時期及び金額】 ・'21年4月：300億円 ・'23年1月：94億円 ・'24年6月：390億円 ※いずれも鉄道・運輸機構からの出資
④借入金に係る利子補給	○連結営業外収益に92百万円 計上 【主な借入案件】 ・「ジュノール手稲」の建設 ・「プランJR帯広駅前」の改修工事 (ホテルからの業態変更)

※1 '21年度に、債務圧縮・資本増強を目的としてDES (Debt Equity Swap) 230億円を実施しました。

※2 連結子会社の北海道高速鉄道開発(株)は国・北海道から以下の支援を受けております。

- ・'21年度 17億円(261系5000代多目的特急車両「ラベンダー」編成取得)
- ・'22年度～'23年度 22億円(H100形電気式気動車取得)

これらの車両を自社で購入・所有した場合に比べ減価償却費が低減されており、今期1億円の効果がありました (累計では3億円)。

8

2024 年度連結決算財務諸表等

2025 年 5 月 9 日
北海道旅客鉄道(株)

1 連結損益計算書

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	増 減	比率(%)
営 業 収 益	1,477	1,560	82	105.6
(うち鉄道運輸収入)	(698)	(766)	(67)	(109.6)
(再掲 新幹線運輸収入)	(77)	(87)	(10)	(113.6)
営 業 費 用	1,977	2,042	65	103.3
営 業 利 益	△499	△482	17	—
営 業 外 損 益	388	357	△31	91.9
(うち経営安定基金運用収益)	(315)	(290)	(△25)	(92.1)
(うち特別債券受取利息収益)	(55)	(53)	(△1)	(97.6)
経 常 利 益	△111	△125	△14	—
特 別 利 益	249	240	△8	96.5
特 別 損 失	83	48	△35	57.8
税金等調整前当期純利益	54	67	12	122.9
法 人 税 等	14	13	△1	89.5
当 期 純 利 益	39	53	14	135.3
非支配株主に帰属する当期純利益	6	7	1	122.3
親会社株主に帰属する当期純利益	33	46	12	137.8

- (注) 1. 連結包括利益 2023年度131億円、2024年度△17億円
2. 2024年度は、国からの支援217億円を特別利益(設備投資等助成金)に計上しております。
3. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2 セグメント情報

(単位：億円)

		運輸業	不動産業	ホテル業	物販・飲食業	その他	合 計	調整額	連結損益 計算書計上額
2024 年 度	売 上 高								
	外部顧客への売上高	963	173	113	250	58	1,560	—	1,560
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	45	10	0	0	85	141	△141	—
	計	1,008	183	114	251	143	1,701	△141	1,560
	セグメント利益	△549	37	20	8	13	△468	△13	△482
増 減	売 上 高								
	外部顧客への売上高	67	△18	13	12	8	82	—	82
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	△0	△0	△0	△0	9	8	△8	—
	計	66	△18	13	12	18	91	△8	82
	セグメント利益	14	△6	5	0	0	14	2	17

- (注) 1. セグメント利益は、営業利益を表示しております。
2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。
3. 「JR北海道グループ中期経営計画2026」のスタートに合わせ、当年度から、セグメントの名称を変更しております。(不動産賃貸業→不動産業、小売業→物販・飲食業)

3 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2023年度 期 末	2024年度 期 末	増 減	比率(%)
[資産の部]				
流動資産	1,228	1,620	391	131.9
固定資産	3,671	3,701	30	100.8
経営安定基金資産	7,348	7,190	△158	97.8
機構特別債券	2,200	2,200	—	100.0
資産合計	14,448	14,712	264	101.8
[負債の部]				
流動負債	838	824	△13	98.3
(うち1年内返済長期借入金)	(29)	(33)	(3)	(112.6)
固定負債	2,315	2,221	△93	96.0
(うち長期借入金)	(1,314)	(1,312)	(△2)	(99.8)
機構特別債券引受借入金	2,200	2,200	—	100.0
負債合計	5,353	5,246	△107	98.0
純資産合計	9,095	9,466	371	104.1
(うち資本剰余金)	(2,189)	(2,579)	(390)	(117.8)
(うち利益剰余金)	(△527)	(△479)	(47)	(—)
負債純資産合計	14,448	14,712	264	101.8

(注) 1. 過年度のグループ会社再編に伴う会計処理により、連結貸借対照表における資本剰余金の額はJR北海道単体の貸借対照表と異なっております。

2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

4 連結キャッシュ・フロー計算書

国からの支援を以下のとおり計上しております。

経営安定基金下支え	148億円(営業活動フロー[入金は9月末と3月末のみ])
助成金の交付	177億円(営業活動フロー 168億円、投資活動フロー 8億円)
省力化・省人化に資する支援	390億円(財務活動フロー)

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	増 減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(I)	266	251	△14	94.4
(設備投資等助成金の受取額)	(169)	(168)	(△0)	(99.7)
投資活動によるキャッシュ・フロー(II)	△315	△274	41	87.0
(固定資産取得による支出)	(△275)	(△301)	(△25)	(109.3)
(設備投資等助成金の受取額)	(9)	(8)	(△0)	(93.0)
フリー・キャッシュ・フロー	△49	△22	26	46.4
財務活動によるキャッシュ・フロー(III)	△140	368	508	—
(長期借入金の借入による収入)	(57)	(33)	(△23)	(58.4)
(長期借入金の返済による支出)	(△39)	(△31)	(8)	(79.7)
(株式の発行による収入)	(—)	(390)	(390)	(—)
現金及び現金同等物の増減額(I)+(II)+(III) (4月1日から3月31日までの増減額)	△189	345	534	—
現金及び現金同等物の期首残高 (4月1日残高)	828	639	△189	77.2
現金及び現金同等物の期末残高 (3月31日残高)	639	984	345	154.1

(注) 1. 国からの支援のうち、営業活動によるキャッシュ・フローの「設備投資等助成金の受取額」には、修繕費や業務費に係る助成金を計上しております。投資活動によるキャッシュ・フローの「設備投資等助成金の受取額」には、固定資産への設備投資に係る助成金を計上しております。

2. 現金及び現金同等物の2024年度期末残高には、国からの支援に基づく増資により得た現金の未使用額(352億円)を含んでおります。

3. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

【参考：JR北海道単体決算】

1 単体損益計算書

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	増減	比率(%)
営業収益	849	908	58	106.9
鉄道運輸収入 (うち新幹線運輸収入)	698 (77)	766 (87)	67 (10)	109.6 (113.6)
開発事業収入	63	53	△ 9	84.4
その他収入	87	88	0	101.0
営業費用	1,424	1,475	50	103.6
人件費	425	435	10	102.4
動力費	82	79	△ 2	97.0
修繕費	399	423	24	106.0
諸税	39	39	0	100.8
減価償却費用	192	197	4	102.3
その他費用	285	299	13	104.9
営業利益	△ 574	△ 567	7	—
営業外損益	412	375	△ 37	91.0
(うち経営安定基金運用収益)	(315)	(290)	(△ 25)	(92.1)
(うち機構特別債券受取利息収益)	(55)	(53)	(△ 1)	(97.6)
経常利益	△ 162	△ 192	△ 29	—
特別利益	193	233	40	120.9
特別損失	21	34	13	163.3
税引前当期純利益	9	6	△ 2	72.7
法人税、住民税及び事業税	△ 9	△ 10	△ 0	—
当期純利益	18	17	△ 1	91.6

(注) 1. 2024年度は、国からの支援217億円を特別利益(設備投資等助成金)に計上しております。
2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2 鉄道輸送量及び鉄道運輸収入

	2023年度	2024年度	増減	比率(%)	
輸送人員	定 期 (うち新幹線)	千人 67,476 (5)	千人 68,615 (5)	千人 1,139 (△ 0)	101.7 (96.4)
	定 期 外 (うち新幹線)	52,915 (1,396)	57,294 (1,601)	4,379 (205)	108.3 (114.7)
	合 計 (うち新幹線)	120,391 (1,402)	125,909 (1,606)	5,518 (204)	104.6 (114.6)
輸送人当	定 期 (うち新幹線)	百万人当 1,254 (0)	百万人当 1,273 (0)	百万人当 19 (0)	101.5 (97.1)
	定 期 外 (うち新幹線)	2,456 (239)	2,607 (246)	151 (7)	106.2 (102.9)
	合 計 (うち新幹線)	3,710 (239)	3,880 (246)	170 (7)	104.6 (102.9)
鉄道運輸収入	定 期 (うち新幹線)	億円 116 (0)	億円 117 (0)	億円 1 (△ 0)	101.3 (90.1)
	定 期 外 (うち新幹線)	582 (77)	648 (87)	65 (10)	111.3 (113.6)
	合 計 (うち新幹線)	698 (77)	766 (87)	67 (10)	109.6 (113.6)

(注) 鉄道運輸収入は億円未満を切り捨てて表示しております。

3 単体貸借対照表

(単位：億円)

	2023年度 期 末	2024年度 期 末	増 減	比率(%)
[資産の部]				
流動資産	671	1,021	350	152.1
固定資産	3,325	3,358	32	101.0
経営安定基金資産	7,348	7,190	△158	97.8
機構特別債券	2,200	2,200	—	100.0
資産合計	13,546	13,770	224	101.7
[負債の部]				
流動負債	805	796	△9	98.8
(うち1年内返済長期借入金)	(16)	(15)	(△ 0)	(96.4)
固定負債	1,978	1,918	△60	97.0
(うち長期借入金)	(1,240)	(1,233)	(△ 7)	(99.4)
機構特別債券引受借入金	2,200	2,200	—	100.0
負債合計	4,984	4,915	△69	98.6
純資産合計	8,561	8,855	294	103.4
(うち資本剰余金)	(2,158)	(2,548)	(390)	(118.1)
(うち利益剰余金)	(△ 881)	(△ 863)	(17)	(—)
負債純資産合計	13,546	13,770	224	101.7

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

4 単体キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2023年度	2024年度	増 減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(I)	250	166	△84	66.5
(設備投資等助成金の受取額)	(169)	(168)	(△ 0)	(99.7)
投資活動によるキャッシュ・フロー(II)	△332	△245	87	73.7
(固定資産取得による支出)	(△ 267)	(△ 230)	(37)	(86.1)
(設備投資等助成金の受取額)	(9)	(8)	(△ 0)	(93.0)
フリー・キャッシュ・フロー	△81	△78	3	96.1
財務活動によるキャッシュ・フロー(III)	△67	354	422	—
(長期借入金の借入による収入)	(8)	(9)	(0)	(103.0)
(長期借入金の返済による支出)	(△ 16)	(△ 16)	(0)	(99.0)
(株式の発行による収入)	(—)	(390)	(390)	(—)
現金及び現金同等物の増減額(I)+(II)+(III)	△148	276	425	—
(4月1日から3月31日までの増減額)				
現金及び現金同等物の期首残高	467	318	△148	68.2
(4月1日残高)				
現金及び現金同等物の期末残高	318	595	276	186.9
(3月31日残高)				

- (注) 1. 国からの支援のうち、営業活動によるキャッシュ・フローの「設備投資等助成金の受取額」には、修繕費や業務費に係る助成金を計上しております。投資活動によるキャッシュ・フローの「設備投資等助成金の受取額」には、固定資産への設備投資に係る助成金を計上しております。
2. 現金及び現金同等物の2024年度期末残高には、国からの支援に基づく増資により得た現金の未使用額(352億円)を含んでおります。
3. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

【通期業績予想】

1 2025年度連結業績予想

(単位：億円)

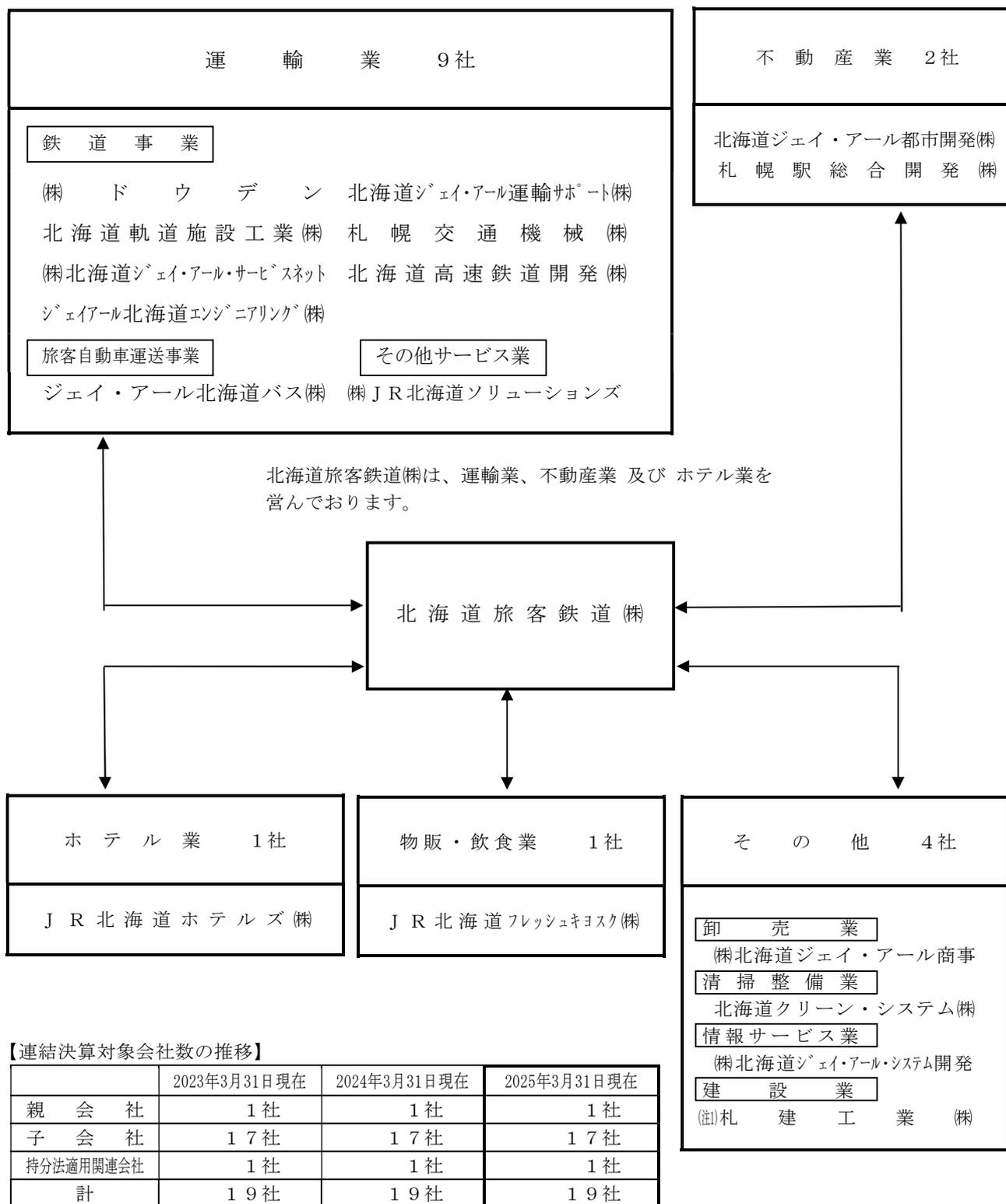
	2024年度実績	2025年度予想	増 減	比率(%)
営 業 収 益	1,560	1,577	16	101.1
営 業 利 益	△482	△524	△41	—
経 常 利 益	△125	△141	△15	—
親会社株主に帰属する当期純利益	46	24	△22	52.2

2 2025年度単体業績予想

(単位：億円)

	2024年度実績	2025年度事業計画	増 減	比率(%)
営 業 収 益	908	947	38	104.3
営 業 利 益	△567	△579	△11	—
経 常 利 益	△192	△182	10	—
当 期 純 利 益	17	9	△8	51.8

連結決算対象会社の概要



(注)1. 札建工業(株)は、持分法適用関連会社です。

2. 北海道ジェイ・アール都市開発(株)は、2025年3月31日に、合同会社BASE JAPANの全出資持分を取得し、子会社化しました。同社は小規模であり、総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除いております。
3. 子会社17社には、上記概要図に記載していない、JR札幌病院に関する「匿名組合ジェイエイチホスピタルアセットホールディングズ」を含めております。
4. 「JR北海道グループ中期経営計画2026」のスタートに合わせ、当年度から、セグメントの名称を変更しております。(不動産賃貸業→不動産業、小売業→物販・飲食業)

2024年度 連結決算対象会社の経営成績

(単位：百万円、単位未満切捨)

会社名		実質持分比率 (%)	経営成績 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)							
			営業収益	対前年増減	営業利益	対前年増減	経常利益	対前年増減	当期純利益	対前年増減
運輸	ジェイ・アール北海道バス(株)	100	8,419	△66	△144	△179	41	△271	△34	△196
	(株)JR北海道ソリューションズ	100	3,208	203	160	76	162	81	101	56
	(株)ドウデン	100	6,784	1,239	633	415	657	418	443	287
	北海道軌道施設工業(株)	100	9,770	△101	790	107	772	119	564	139
	(株)北海道ジェイ・アール・サービスネット	100	1,409	58	95	17	97	15	61	11
	ジェイアール北海道エンジニアリング(株)	100	4,091	△239	394	△84	400	△81	266	△46
	北海道ジェイ・アール運輸サポート(株)	84	4,737	160	30	△68	31	△81	31	△44
	札幌交通機械(株)	73	6,119	△250	244	△194	259	△233	222	△110
	北海道高速鉄道開発(株)	50	711	△3	401	37	409	39	281	26
不動産	北海道ジェイ・アール都市開発(株)	100	3,758	69	523	158	522	154	234	124
	札幌駅総合開発(株)	63	13,492	△1,416	1,801	136	2,186	114	1,527	84
ホテル	JR北海道ホテルズ(株)	100	11,399	1,335	1,470	557	1,493	564	1,043	347
物販	JR北海道フレッシュキヨスク(株)	100	25,109	1,213	842	22	842	14	223	△490
その他	(株)北海道ジェイ・アール商事	100	4,519	146	777	36	819	44	577	29
	北海道クリーン・システム(株)	100	6,301	359	352	△24	362	△20	294	48
	(株)北海道ジェイ・アール・システム開発	90	3,622	719	239	58	244	59	405	158
子会社合計		-	113,798	3,391	8,690	1,078	9,376	941	6,244	425
札幌工業(株) (持分法適用関連会社)		29	10,576	1,549	505	8	500	△33	354	0
JR北海道		-	90,829	5,841	△56,715	778	△19,206	△2,949	1,738	△158
連結決算額		-	156,058	8,264	△48,224	1,738	△12,523	△1,404	4,601	1,262

- (注) 1. 実質持分比率 (小数点以下切り捨て)、資本金の順位で記載しております。
 2. 連結決算額における当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しております。
 3. 実質持分比率は、2025年3月31日現在です。
 4. 子会社合計の金額には、上表に記載のない匿名組合ジェイイホスピタルアセットホールディングズを含めております。

経営成績の推移（年間）

1 連結経営成績

	1999年度 (H11年度)	2000年度 (H12年度)	2001年度 (H13年度)	2002年度 (H14年度)	2003年度 (H15年度)	2004年度 (H16年度)	2005年度 (H17年度)	2006年度 (H18年度)	2007年度 (H19年度)	2008年度 (H20年度)
売上高	144,721	148,001	150,162	150,945	160,434	162,534	165,419	169,135	168,251	166,727
営業利益	△28,945	△28,361	△26,935	△27,818	△23,041	△21,465	△25,229	△24,527	△22,673	△21,745
経常利益	2,860	1,446	3,482	2,806	6,847	8,250	5,463	11,240	5,168	1,665
親会社株主に帰属する当期純利益	3,443	2,363	1,388	1,545	2,619	3,030	△4,221	5,838	3,827	△2,827

	2009年度 (H21年度)	2010年度 (H22年度)	2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)
売上高	162,883	161,562	165,071	179,634	189,482	174,266	171,390	172,564	173,767	171,017
営業利益	△19,185	△20,733	△24,168	△23,763	△28,610	△30,858	△35,264	△39,814	△41,653	△41,890
経常利益	5,458	3,865	1,768	7,352	11,417	11,329	5,442	△10,397	△10,627	△11,155
親会社株主に帰属する当期純利益	2,447	△59	△2,652	4,040	9,156	10,725	8,413	△14,874	△8,735	△17,991

	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)				
売上高	167,298	111,944	110,337	133,762	147,794	156,058				
営業利益	△42,641	△80,594	△72,775	△57,256	△49,962	△48,224				
経常利益	△13,557	△44,677	△8,098	△18,105	△11,119	△12,523				
親会社株主に帰属する当期純利益	1,919	△41,045	△1,052	△16,438	3,339	4,601				

2 個別経営成績

	1987年度 (S62年度)	1988年度 (S63年度)	1989年度 (H元年度)	1990年度 (H2年度)	1991年度 (H3年度)	1992年度 (H4年度)	1993年度 (H5年度)	1994年度 (H6年度)	1995年度 (H7年度)	1996年度 (H8年度)
売上高 (うち鉄道運輸収入)	91,975 (62,302)	94,031 (70,530)	99,863 (68,768)	105,040 (72,738)	106,358 (75,587)	105,463 (76,249)	105,967 (76,013)	101,972 (76,374)	101,864 (77,055)	104,722 (80,073)
営業利益	△53,820	△53,352	△52,734	△49,061	△48,304	△46,847	△45,395	△42,115	△40,656	△38,182
経常利益	△2,223	△1,241	268	1,611	2,045	1,325	525	159	△1,405	△3,562
当期純利益	1,213	1,758	211	507	635	252	277	150	△2,428	△1,263

(利回り%) 基金運用収益	(7.30%) 49,800	(7.30%) 49,800	(7.26%) 49,595	(7.17%) 48,960	(7.18%) 49,094	(6.87%) 46,966	(6.51%) 44,436	(5.98%) 40,829	(5.54%) 37,811	(4.94%) 33,730
------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

	1997年度 (H9年度)	1998年度 (H10年度)	1999年度 (H11年度)	2000年度 (H12年度)	2001年度 (H13年度)	2002年度 (H14年度)	2003年度 (H15年度)	2004年度 (H16年度)	2005年度 (H17年度)	2006年度 (H18年度)
売上高 (うち鉄道運輸収入)	102,474 (78,259)	99,198 (75,976)	97,742 (74,706)	91,129 (73,552)	90,920 (74,234)	90,219 (73,658)	89,221 (72,854)	89,114 (72,913)	88,636 (73,046)	88,981 (73,087)
営業利益	△37,140	△32,725	△30,323	△29,942	△28,830	△28,719	△28,400	△27,076	△30,714	△29,646
経常利益	△3,681	1,989	1,534	480	1,379	1,550	1,543	2,678	292	6,468
当期純利益	△5,622	△94,160	1,736	916	1,155	1,124	46	159	△8,351	4,090

(利回り%) 基金運用収益	(4.76%) 32,453	(4.98%) 34,029	(4.58%) 31,261	(4.28%) 29,208	(4.35%) 29,654	(4.36%) 29,736	(4.30%) 29,300	(4.25%) 28,983	(4.25%) 29,022	(4.97%) 33,919
------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

	2007年度 (H19年度)	2008年度 (H20年度)	2009年度 (H21年度)	2010年度 (H22年度)	2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)
売上高 (うち鉄道運輸収入)	89,389 (73,419)	88,264 (72,135)	84,784 (69,266)	82,661 (67,735)	82,197 (67,299)	84,397 (68,860)	82,787 (67,077)	82,563 (66,882)	83,844 (68,508)	89,443 (72,742)
営業利益	△28,115	△26,594	△24,960	△25,933	△30,719	△30,936	△37,246	△38,987	△44,700	△49,809
経常利益	331	△2,408	269	△418	△4,439	986	3,765	4,392	△2,224	△18,885
当期純利益	2,194	△5,015	954	△1,801	△4,786	1,326	6,056	8,177	5,581	△12,604

(利回り%) 基金運用収益	(4.00%) 27,349	(3.39%) 23,121	(3.56%) 24,290	(3.53%) 24,089	(3.44%) 23,558	(3.72%) 25,409	(5.01%) 34,173	(5.33%) 36,359	(5.10%) 34,918	(3.47%) 23,639
------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)		
売上高 (うち鉄道運輸収入)	89,770 (72,827)	88,512 (71,207)	87,563 (70,609)	51,037 (35,473)	55,277 (40,371)	72,925 (58,582)	84,988 (69,888)	90,829 (76,625)		
営業利益	△52,524	△52,036	△52,187	△81,434	△76,309	△63,971	△57,493	△56,715		
経常利益	△19,975	△19,856	△20,469	△43,863	△10,598	△24,382	△16,257	△19,206		
当期純利益	△10,966	△21,370	△765	△37,206	△976	△18,069	1,896	1,738		

(利回り%) 基金運用収益	(3.74%) 25,503	(3.63%) 24,795	(3.42%) 23,403	(4.13%) 28,145	(8.39%) 57,239	(4.31%) 29,382	(4.61%) 31,503	(4.25%) 29,001		
------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	--	--

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結決算は1999年度から公表しております。

3. 「収益認識に関する会計基準」等を2021年度の期首から適用しております。同基準に定める経過措置に従い、遡及修正してありません。